

能登教区通信

発行責任者 真宗大谷派 能登教務所長 篠原 亨栄

このたび、標記通信2016年11月号を発行いたしましたので、ご一読のほどお願い申し上げます。

教区教化事業のご案内

◆教区報恩講◆ 総合教化本部

①教区(済美精舎)の報恩講の出仕について

出仕を希望される方は、11月7日(月)迄に同封のハガキ(出仕願)にてお申込みください。期限後の申込及び集会に遅れた場合は後座出仕となります。なお、組代表として出仕される場合は、組長を通じてお申し込みください。

②教区(済美精舎)報恩講に伴う大掃除について

報恩講に向けて、11月7日(月)午前9時から済美精舎大掃除を行います。できるだけ多くの組からの参加をいただきたく、ご門徒の方々もお誘いいただきぜひご参加ください。

③教区(済美精舎)報恩講お斎用食材の寄付勧募について

報恩講でのお斎用食材の寄付をお願いしています。何卒ご協力をお願いいたします。

(お米、白菜、大根、ねぎ、人参、里芋、薩摩芋、ごぼうなど)

なお、鮮度の関係上、お持込は11月に入ってからお願いします。

◆第1回和讃研修会◆ 研修部門

- ・日時 2016年12月12日(月) 午後1時半～4時半
- ・講師 藤場 俊基 氏(金沢教区 常讃寺)
- ・講題 『高僧和讃』に学ぶ
- ・持ち物 『真宗聖典』、念珠、間衣・輪袈裟(有僧籍者のみ)、筆記用具等
- ・参加費 500 円
- ・備考 どなたでもご参加いただけます。また、教師陞補第1種認定の講座となります。

教化事業のご報告

◆第58回北陸連区坊守会研修会◆教区坊守会主催

去る9月14日(水)～15日(木)和倉温泉「あえの風」において、第58回北陸連区坊守研修会が能登教区当番にて開催された。研修会は講話、班別座談会、感話、感想発表と盛り沢山な内容で行われた。講師には大垣教区長勝寺住職の沼秋香氏をお迎えし、～いま、私はどう生きる?～というテーマを受けて『浄土を生きる、娑婆を生きる』という講題でお話し頂いた。

「我々真宗門徒の立場は、片方は浄土、片方は娑婆で生きている」という導入から始まり、身と心ということについて『赤ん坊になったお婆さん』の紙芝居を使ってわかりやすく話して頂いた。お爺さんはのどの渇きという、身の欲求で水を飲んだため程々でやめられたが、お婆さんは若くなりたいという一心、心の欲求で水を飲んだため途中でやめることができなかったという。参加者は紙芝居に釘付けで、童心に返って聞き入っていた。「身はこの場に置きながら、心は自由に移動することができる。信心の人は、その心すでに浄土にあり」という言葉が印象に残った。当日は北陸連区各地より191名の坊守が参加された。



(坊守会副会長 松本美紀)

◆第46回北陸連区推進員交流研修会◆教区推進員連絡協議会主催



去る9月26日(月)から27日(火)にわたり、和倉温泉「のと楽」を会場に、第46回北陸連区推進員交流研修会が開催された。講師には、教区教化本部長である大窪祐宣(第二組柳瀬専勝寺住職)をお迎えし、連区内各地から200名近い推進員・僧侶が集った。例年、能登教区推進員連絡協議会は教区研修会を開催していないので、慣れない運営ながらも、実りある二日間を過ごしていただく為に各人が尽力していた。講題は「正信偈を生きるよりどころとして」として、講師から自身の体験、歩みを通して教えにであっていくことの意義について、丁寧にお話いただいた。

◆第4組グラウンドゴルフ大会◆

去る10月1日(土)増穂浦グラウンドゴルフ場において、第4組門徒会主催による交流グラウンドゴルフ大会が開催された。

心配されていた天候も、当日は汗ばむ程の晴天に恵まれ、今年で3回目となる本大会は、9歳から91歳までの老若男女、寺族・ご門徒合わせて279名の参加があり、3名1チームとする団体戦で熱戦が繰り広げられた。グラウンドからは終始、歓声や笑い声が聞こえ、和やかな中、参加者はプレーを楽しんでいた。色々な賞が用意されていて、上位入賞の他にも、BB賞、飛び賞、ホールインワン賞などたくさんの賞が発表されるたび、どよめきや喜びの声、温かい拍手がおくられ盛況のうちに大会を終えた。



大会後には、多くの方が楽しみにしていた反省会が各寺院に於いて催された。普段中々お寺に足が向かない人も、新たなお寺の一面に触れたのではないかなと思う。

第4組では、今年は第30回の記念大会となった同朋大会が毎年開催され、準備から運営まで門徒会や推進員連絡協議会の方々にご協力をいただいている。

過疎という問題が年々現実味を帯びてきている中であって、門徒会が自発的に主体となって企画されたこのグラウンドゴルフ大会に共に歩むという姿勢と、何か大きな力を感じている。

(第4組柳泉寺 谷内柳宣)

◆鳳至歓喜光院御崇敬◆



去る10月10日(土)11日(日)に能登町鶴川の宝蔵寺を会場にして、歓喜光院殿御崇敬法要を厳修した。長い伝統を有するこの法要を通じて、本山と能登門徒の関わりの長い歴史に思いをはせ、また、組という枠をこえた能登門徒の連帯を確認することができた。5組、6組、7組、8組、穴水組、鶴川組の計6組によって毎年ご崇敬されてきたこの法要をお勤めさせていただくことによって、改めて宗門護持にかけた能登門徒の深い信仰心(真実信心)を呼び覚まされる思いである。

今日、私たちは本当に真実信心に立脚して日々の生活を送っているのか、また、その信心を後世に引き継いでいく熱意を有しているのか。そのような思いが脳裏をよぎるのは私だけではないと思う。

この能登教区をめぐる今日的課題は大変重いものがある。過疎に歯止めもかからず、益々人口減少が進行する中で果たして、私たちはどう対応すべきなのだろうか。信仰を守っていけるのだろうか。寺はどうなるのだろうか。

恐らく、そのような課題はどの時代でも突きつけられてきたのではないだろうか。私たちの祖先は、そのような重い課題と向き合いながら本山を維持し、寺を維持してこられたのだろう。

歓喜光院殿御崇敬法要を通じて、私たちは今日の課題に向き合い、そして過去の歴史に学びながら、宗祖の御教えを学び直していく他、道はないように思う。

(鶴川組組長 禾几文栄)

◆仏前結婚式◆

10月9日(日)、済美精舎本堂において篠原亨栄教務所長の司婚のもと、新郎 山崎 洋さん(第13組皆善寺門徒)、新婦 福田夏奈子さん(第14組正覚寺寺族)の仏前結婚式が執り行われた。

当日は、雅楽が流れる厳粛な雰囲気の中、午後1時に開式、勤行の後、司婚者表白、司婚のことば、誓いのことば、念珠授与、指輪交換、夫婦・親族交杯、親族紹介、お祝いのことばの次第で、約50分の式が滞りなく挙げられた。

近年、仏前での結婚式はめずらしく、特に済美精舎を会場に挙式されるのは数年に一度のことで、両家の親族約35名とともに、新郎新婦の友人等約60名も参列し、お二人を祝福した。



教区事務についてのご連絡

◇教務所事務休暇について◇

下記の期間を事務休暇とさせていただきます。ご不便をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。緊急連絡先携帯番号 090-5685-5611

11月14日(月)・18日(金) 教区報恩講の代休

◇本山経常費完納寺院◇(2016.9.1~9.30迄)

2016年度本山経常費をご完納いただき、有難うございました。ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第1組	浄善寺	慶専寺	善西寺	第7組	佛照寺	照福寺	
第2組	明照寺	榮通寺		第8組	慶願寺	通敬寺	真念寺
第3浜方組	光念寺	本立寺	宗源寺	鶴川組	蓮光寺	浄誓寺	専順寺
	明正寺			穴水組	真浄寺	誓運寺	隨照寺
第4組	永誓寺	因宗寺	浄法寺	第10組	往還寺	専行寺	西光寺
	専明寺	福専寺	新覺寺		勝樂寺	慶西寺	高福寺
第5組	正光寺				長覺寺	道忍寺	福正寺
第6組	満覺寺	明敬寺	廣照寺	第11組	真光寺		
	願行寺	長順寺	信念寺	第12組	佛乗寺	長賢寺	榮林寺
	西慶寺	善通寺	正養寺	第13組	西休寺	皆善寺	
	浄蓮寺	善行寺	碧雲寺	第14組	信行寺	閑窓寺	得源寺
	浄方寺						

◇住職就任◇(教区通信9月号 掲載以降)

第10組 了覺寺 中野 信 2016年9月28日

※2015年9月号よりこの教区通信が済美精舎ホームページよりPDFファイルでダウンロードできるようになりました。適宜ご活用ください。

能登教区教化テーマ
済美精舎ホームページアドレス

ほとけさまに遇いにきたいのち、今ともに生きよう
<http://notokyouku.sakura.ne.jp>